

平成23年度
実施事業

事務事業名 新産業創造活動事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	1	新たな事業展開の促進
主要な施策	2	新分野進出への支援
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 15 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市内における新製品等の創出に向けた動きを支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービス等の研究・開発事業を行う団体等の活動に対して、その要する経費の一部を補助する。 【事業実績】 申請なし
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	新製品等の開発を促進し、地域経済の活性化を図るため、地域資源の活用による商品開発の研究等を行う団体を対象に補助金を交付する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市新産業創造活動事業補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

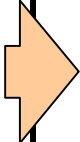
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	0	600	600	600
事業費 合計			0	0	600	600	600

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	補助金交付件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	0			
	新技術等の開発成功件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	0			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》 ・当該補助事業への申請がない状況である。	具体的な対策、解決の方向性《事業後》 ・これまでの広報紙やホームページに加え、事業者へ送付する文書等の封入や商工会議所等へ協力依頼する。 ・関係団体や事業者等からの声を聞きながら、制度の改廃について検討したい。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 (財)室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」と類似している。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="checkbox"/> 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 中小企業等で組織する団体等が新技術、新製品、新サービスを創出するために行う研究、技術開発などの取り組みに要する経費の支援であり、新産業の創造を促進し、市内経済の活性化を図るためには必要性が高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="checkbox"/> 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 最近の申請件数は低調であるが、以前に申請のあった商品が、現在も、登別温泉の定番のお土産として販売されている。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/> 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 平成18年度以降、申請がない状態が続いていることから、成果の把握は難しい。

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	新技術等の開発に取組む中小企業者等の団体に財政的支援を行うことにより、市内における複合産業の基盤構築、新産業の創造が促進されるが、(財)室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」と一部重複が見られることから、ニーズ調査を実施する等により、事業の改廃を含めて検討したい。

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	